

江戸メシ

2025年1月5日(日)～1月26日(日)

※ 展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

太田記念美術館

		絵師名	作品名	年代
1	蕎麦	葛飾北斎	東海道 見附 浜松へ四里八丁	享和4年(1804)
2		歌川国芳	木曾街道六十九次之内 守山 達磨大師	嘉永5年(1852)7月
3		歌川国貞 (三代豊国)	当糶八幡祭	嘉永6年(1853)9月
4		四代歌川国政	志ん板猫のそばや	明治6年(1873)10月
5		歌川国芳	道外十二支 未	安政2年(1855)12月
6	天ぶら	月岡芳年	風俗三十二相 むまさう 嘉永年間女郎之風俗	明治21年(1888)3月
7	寿司	喜多川歌麿	『絵本江戸爵』	天明6年(1786) 寛政9年(1797)版
8		歌川国芳	縞揃女弁慶 松か鮎	弘化元～3年(1844～46)
9		歌川国貞 (三代豊国)	見立源氏はな乃宴	安政2年(1855)12月
10		落合芳幾	東海道中栗毛弥次馬 日本橋 品川	万延元年(1860)3月
11	ウナギ	歌川広重	浄るりまち繁花の図 髪結店	嘉永5年(1852)8月
12		歌川広重	東海道五十三図会 三十二 荒井 名ぶつ蒲焼	嘉永2～5年(1849～52)
13	刺身	歌川広重	東海道五十三図会 四 神名川	嘉永2～5年(1849～52)
14		歌川国貞 (三代豊国)	江戸名所百人美女 呉服ばし	安政4年(1857)12月
15		歌川国貞 (三代豊国)・河鍋晩斎	江戸名所 築地浪除勝景	元治元年(1864)2月
16	煮物	歌川国芳	艶姿十六女仙 蜆子	弘化3～嘉永元年(1846～48)
17	鍋料理	歌川国貞	当時高名会席つくし 中橋ほう月あん	文政4～5年(1821～22)頃
18		歌川国貞 (三代豊国)	江戸名所百人美女 日本はし	安政4年(1857)11月
19		二代歌川国輝	力士宴会の図 ※石黒コレクション	
20	獣肉鍋	歌川広重	名所江戸百景 びくにはし雪中	安政5年(1858)10月
21		歌川広重	童戯武者尽 仁田四郎 佐藤忠信	嘉永7年(1854)8月
22		歌川広重	浄る理町繁花の図 しゃも鍋屋	嘉永5年(1852)6月
23	餅	歌川国貞 (三代豊国)	十二月之内 師走 餅つき	安政元年(1854)6月
24		鳥居清長	『画本五葉松』	天明6年(1786)頃
25	七草	勝川春潮	七草	寛政前期 (1789～95) 頃
26	枝豆	歌川国貞 (三代豊国)	川開の光景	安政6年(1859)
27	焼き芋	歌川国貞 (三代豊国)	十二月の内 小春 初雪	安政元年(1854)6月
28	スイーツ	葛飾北斎	東海道 日坂	文化元年(1804)頃
29		歌川国貞 (三代豊国)	詠織当世島 金花糖	天保14～弘化3年(1843～46)
30		歌川国貞 (三代豊国)・歌川広重	双筆五十三次 加奈川 従金川台芒横浜本牧眺望	嘉永7年(1854)7月
31		歌川国貞 (三代豊国)	二十四好今様美人 甘い物好	文久3年(1863)12月
32		歌川広重	江戸名所 溜池山王の社	嘉永7年(1854)閏7月
33		葛飾北斎	極製御菓子 江戸八景 両国暮雪	天保4年(1833)頃
34		歌川豊広	『絵本東わらは』	享和4年(1804)
35	カレイ	二代歌川広重	諸国名所百景 若狭かれみを制す	安政6年(1859)
36	カツオ	歌川広重	鯛 鯉 鯉	天保後期(1837～44)頃
37		歌川豊国	豊広豊国 両画十二候 四月 三枚続	享和元年(1801)
38		歌川国貞 (三代豊国)	十二月の内 卯月 初時鳥	安政元年(1854)6月
39	鯉節	三代歌川広重	大日本物産図会 土佐国 鯉釣之図 鯉節を製す図	明治10年(1877)
40		歌川国芳	七婦久人 布袋	弘化4～嘉永元年(1847～48)
41	昆布	二代歌川国輝	現如上人北海道巡錫絵図 歌棄 ※個人蔵	明治4年(1871)2月
42	アワビ	歌川国貞 (三代豊国)	伊勢の海士長鮑制ノ図	万延元年(1860)5月
43	醤油	三代歌川広重	大日本物産図会 下総国 醤油製造之図 西瓜畑之図	明治10年(1877)

44	味噌	歌川国貞	今世斗計十二時 巳ノ刻	文政4～5年(1821～22)頃
45	海苔	歌川国芳	東都名所 大森	天保3～4年(1832～33)頃
46		葛飾北斎	東海道 品川 川崎へ二里半	享和4年(1804)
47		歌川国貞 (三代豊国)	江戸自慢三十六興 品川海苔	元治元年(1864)4月
48	酒	歌川広重	東海道 一 五十三次 日本橋	嘉永2～5年(1849～52)
49		溪斎英泉	新吉原年中行事 十月恵比子講 玉屋内若紫	文政後期～天保前期(1825～37)頃
50		歌川広重	浄るり町繁花の図 せうちう屋	嘉永5年(1852)8月
51		歌川国貞 (三代豊国)	江戸名所百人美女 小梅	安政5年(1858)2月
52		歌川国貞 (三代豊国)	十六むさしの内 おもひざし	文久元年(1861)11月
53	白酒	歌川豊国	大極上ふじの白酒	寛政後期(1797～1801)頃
54		斎藤月岑編・長谷川雪旦画	『江戸名所図会』巻之一	天保5年(1834)
55	水飴	歌川国貞 (三代豊国)	江戸名所百人美女 堀の内祖師堂	安政4年(1857)11月
56	スイカ	歌川国貞 (三代豊国)	十二月ノ内 水無月 土用干	安政元年(1854)4月
57		歌川国貞 (三代豊国)	東都名所四季之内 両国夜陰光景	嘉永6年(1853)6月
58		歌川国貞 (三代豊国)	東都両国橋川開繁栄図	安政5年(1858)3月
59	魚市場	歌川広重	東都名所 日本橋魚市	天保後期(1837～44)頃
60		柳川重信	東海道 日本橋 品川へ二里	文化元年(1804)頃
61		歌川貞秀	大江戸年中行事之内 正月二日日本橋初売	安政7年(1860)1月
62		斎藤月岑編・長谷川雪旦画	『江戸名所図会』巻之一	天保5年(1834)
63		歌川広重	浪花名所図会 雑喉場魚市の図	天保5～6年(1834～35)頃
64	料亭	歌川広重	江戸高名会亭尽 山谷 八百善	天保6～13年(1835～42)頃
65		歌川広重	江戸高名会亭尽 両国 青柳	天保6～13年(1835～42)頃
66		歌川国安	東都両国繁栄之図	文化12年～天保3年(1815～32)頃
67		歌川国直	平清遊興図	天保(1830～44)頃
68		歌川広重	名所江戸百景 上野山した	安政5年(1858)10月
69		歌川国貞 (三代豊国)	十二月之内 文月 廿六夜待	安政元年(1854)4月
70		歌川国貞	英雄見立三國志 ※石黒コレクション	天保4～6年(1843～45)頃
71		歌川国貞	『夏乃富士』	文政10年(1827)
72	屋台	歌川広重	東都名所 高輪廿六夜待遊興之図	天保後期(1837～44)頃
73		歌川広重	江戸名所 高輪廿六夜	天保11～13年(1840～42)頃
74		歌川貞秀	汐干狩の図	嘉永2～5年(1849～52)
75	水茶屋	溪斎英泉	十二ヶ月の内 六月 門ト涼	弘化元～3年(1844～46)
76		歌川国貞	美女競 水茶屋	文政(1818～30)頃
77		歌川国貞 (三代豊国)	江戸名所百人美女 浅草寺	安政4年(1857)11月
78		歌川広重	東都名所 亀戸藤花	天保後期(1837～44)頃
79	川床	歌川豊広	豊国豊広 両画十二候 六月 三枚続	享和元年(1801)頃
80	花見	歌川国貞 (三代豊国)	十二月の内 衣更着 梅見	安政元年(1854)6月
81		溪斎英泉	江戸御殿山桜盛之風景	天保(1830～44)頃
82		歌川国次	桜下遊宴図	文政～天保(1818～44)頃
83		柳々居辰斎	弁当箱とわらび	文化～文政前期(1804～24)頃
84	観劇	歌川豊国	三座歌舞妓つゞき絵	文化14年(1817)
85	ご当地 グルメ	歌川国貞 (三代豊国)・歌川広重	双筆五十三次 はら 白酒売	嘉永7年 (1854) 8月
86		歌川広重	東海道五十三次之内 府中 あべ川遠景	弘化元～3年(1844～46)
87		葛飾北斎	東海道 鞠子	文化元年(1804)頃
88		歌川広重	東海道五十三次之内 鞠子	天保13年(1842)頃
89		歌川国貞	東海道五十三次之内 桑名之図	天保4年(1833)頃
90		歌川広重	東海道五拾三次 桑名 富田立場之図	天保11年(1840)頃
91		歌川広重	木曾海道六拾九次之内 五拾九 関ヶ原	天保7～8年(1836～37)頃

